

東京大空襲 80 年

東京大空襲を 語り継ぐつどい

東京大空襲・戦災資料センター 開館 23 周年

○日 時 2025 年 3 月 9 日 (日)

開 場 13 時 開 会 13 時 30 分 (閉会予定 16 時 20 分)

○会 場 江東区森下文化センター 2 階多目的ホール

○チケット① 一般 2,000 円 (参加費+東京大空襲 80 年記念グッズ)

チケット② 一般 1,000 円 (参加費) チケット③ 高校生 500 円 (参加費)

※中学生以下 無料 ※障がい者の付き添いの方は 1 名無料になります

会場の都合でセンターの会費や募金の受付ができないため、センター存続への支援に、参加費に東京大空襲 80 年事業としてセンターが制作したグッズをプラスしたチケットを企画しました。

○定 員 250 名 (事前申し込み制 先着順 当日参加は出来ません)

◆講演

へいわってどんなこと? ~絵本で考える 戦争・平和・命~

講師 浜田桂子氏 (絵本作家・画家)

東京大空襲から 80 年。子どもたちには空襲の体験を深く学び、自分事として考えてほしいと願っています。そのためには「平和はわたしたちがつくることができる」という希望を発信することが、とても大切だと考えます。絵本『へいわってどんなこと?』は中国・韓国の作家との厳しい意見交換を経て制作しました。その経過や、子どもたちの意見をお話します。「おとなはどうしてせんそうをするの?」子どもたちの質問です。空襲で命を絶たれた子どもたちが問い続けているのだと、私は受けとめています。



◆東京大空襲を語り継ぐ

- * 体験を語る「戦災孤児として生きて」元木キサ子さん
- * センターの東京大空襲 80 年事業について
- * センターで学んだ生徒たち



〈主 催〉東京大空襲を語り継ぐつどい実行委員会

〈連絡先〉東京大空襲・戦災資料センター

〒136-0073 東京都江東区北砂 1-5-4

TEL: 03-5857-5631 FAX: 03-5683-3326

<https://tokyo-sensai.net/>

お申し込み方法

1. Google フォームより →



2. FAX 03-5683-3326

3. 電話 03-5857-5631

申し込みの際には下記事項をお知らせください。

- ① チケットの種類 ②参加者名 ③参加者の住所 ④携帯電話など当日連絡のつく電話番号
申し込み人数は2名まで

申込受付開始 2025年2月14日(金)

※ 後日、つどいの模様を録画した映像を、インターネットで有料限定配信し、DVDでも販売いたします(いずれも1,000円)。定員に達して会場参加できなかった場合などは、こちらでご視聴ください。申し込み方法はホームページにて別途お知らせいたします。

記念グッズをただいま制作中です!

3種類のデザインのマスキングテープ(15mm×5m)をセンター受付でも販売予定です。

今回は3種類のうち2種類がセットになっています。

どの柄になるかはお楽しみになさってください。



※デザインは変更になる場合があります



会場案内

森下文化センター

2階多目的ホール

住所 東京都江東区森下 3-12-17

アクセス

都営地下鉄 新宿線・大江戸線「森下」駅
A6出口より徒歩8分

東京大空襲・戦災資料センター

1945年(昭和20年)3月10日未明、約300機のアメリカ軍爆撃機B29が、東京下町を目標に焼夷弾による無差別爆撃をおこないました。一帯は火炎地獄と化し、罹災者は100万人をこえ、推定10万人もの尊い命が失われました。東京は3月10日を含めて100回以上の空襲を受け、市街地の5割を焼失しました。

1970年から「東京空襲を記録する会」が空襲の実態の掘り起こしを進めましたが、東京都は1999年に「平和祈念館」建設計画を凍結。記録する会と財団法人政治経済研究所は、やむにやまれぬ思いで民間募金を呼びかけ、4000人超の方々のご協力を得て、2002年3月9日に東京大空襲・戦災資料センターが開館しました。開館から22年間、多くの会員のご支援のもと、民立民営の平和博物館として、来館者に空襲の実相、いのちと平和の尊さを伝えてきました。